

令和5年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3単位	学年	1学年
教科書	新編言語文化(東京書籍)		副教材等	高校生の古典文法 七訂版 (京都書房) 新国語総合ガイド 五訂版 (京都書房)			

1 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	古文編 1 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝	・それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取り、好きな文章を選んで暗唱します。 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ります。	中間 考査  期 末 考 査
	漢文編 1 漢文入門 訓読の基本 故事成語一三編	・熟語や格言を読んで漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解します。 ・故事成語の元になった話を読むことで、訓読や読解の基礎を養い、漢文の世界に親しみます。	
	現代文編 1 随筆 「美しい」ということ	・随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と文化について改めて考えます。	
第2学期	古文編 2 随筆 徒然草	・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉えます。 ・作品の内容を踏まえて、自分と関連付けながらものの見方、感じ方、考え方を深めます。	中間 考査
	漢文編 2 漢詩 絶句と律詩一七首	・漢詩の基本となる規則と特徴を理解します。 ・繰り返し音読して優れた表現に親しみ、漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取ります。	
	現代文編 4 小説2 羅生門	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考えます。 ・元になった古典作品と読み比べることで、原作との違いや創作性について考えます。	期 末 考 査
	古文編 4 物語 伊勢物語	・歌物語や『伊勢物語』の概略を理解し、描かれている内容を、叙述を基に的確に捉えます。	
漢文編 3 論語 論語一八章	・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを知り、ものの見方や考え方を豊かにするとともに、漢文の基礎学習を徹底します。		
第3学期	現代文編 3 詩歌 柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た	・短歌や俳句、詩に親しみ、それぞれのジャンルの特性や散文の言葉との違いをすることで、深く読み味わう力を養います。	学 年 末 考 査
	古文編 5 紀行 奥の細道	・文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深めながら作者の思いを捉えます。	
	漢文編 4 史話 史話一三編	・話の展開に即して内容を理解し、登場人物の心理に着目しながら史話の面白さを味わいます。	
現代文編 5 小説3 デューク	・幻想的な小説を読み、小説の読解や小説の世界が広がっていく楽しさを味わいます。		

### 3 評価の規準

#### 【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

#### 【思考・判断・表現】

「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

### 4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の三つの観点から、学習活動への取組、定期考査、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

### 5 学習のアドバイス

各単元で学習する主な目標が、単元扉のページに示してある（現代文編では教材ごとにある）ので、まずはきちんと確認しましょう。各教材の注欄にある「発問」や各教材末にある「学習の手引き」を用いて予習・復習を行えば、学習効果を上げることが期待できます。また、同注欄に、[現代文編]では「注意すべき語句」「漢字」が示され、[古文編]では「古文重要語句」が示され、[漢文編]では「助字・句法」が示されています。これらのポイントを押さえながら学習に取り組めば、授業の内容もきちんと理解できるようになります。それでも分からないことがあるときは、遠慮なく教員に質問しましょう。

グループ活動や「どのようにあなたは考えるか」を問う記述の課題など、積極的に取り組みましょう。授業や読書などインプットを通じて知識や技能を身に付けるだけでは不十分です。自分の頭で考えて、まとめて、アウトプットすることで、学習効果はより一層高まります。インプットとアウトプットのバランスをとりながら両方を組み合わせた学習方法が、最も効果的です。